



愛知県豊根村 豊根村

# 若者と心つないで過疎脱却



学生が定期的が高齢者宅を訪問。学生にとっては、高齢社会の現場を学ぶ場になると同時に、高齢者の生きがいにもつながっている。

## 事例の概要

豊根村は山間の谷間に小規模集落が点在しており、小規模ゆえに過疎化の影響を強く受け、伝統芸能である花祭りも一部の地区では休止に追い込まれるほど、地域活動の担い手が減少してきた。

そこで村は、大学生などの外部人材を活用し、地域での生活・活動の手助けなどを通じて地域づくりへの提言などでもらう地域づくりインターン制度、大学の支援を受けて実施する農業体験イベント、出身者交流会、地域おこし協力隊などの事業により地域の活動の支援を行ってきた。

また、参加した若者達により、「とよねサポーターズ」が結成され、豊根のPR活動や、地域イベントの運営支援などが行われ、今でも交流が続いている。

これらの活動により、とかく閉鎖的な小規模集落において、外部人材の受け入れに対する土壌が育てられたことにより、交流人口の増加が図られ、地域活動の維持や新規定住者の呼び込みにもつながっている。



学生が、就職し、家庭を持って、「とよねサポーターズ」として地域と交流を継続している。さらに知り合いを誘って交流の輪が広がっている。



定住人口が伸びない中、外部から来た学生たちが継続して交流することで、新しい親戚のような関係づくりがなされ、心の過疎化防止につながっている。



滞在した学生と住民による活動報告会で、学生の目から見た率直な指摘が、集落づくりの見直しにつながってきている。



大学との連携で、稲作やとうもろこし栽培の体験イベントのスタッフが学生が分担。担い手不足を補完するとともに、過疎地域の新しいファン層が広がっている。

## 評価のポイント

豊根村は、天竜川右岸にあり、静岡県・長野県の両県と境界を接する、きわめて険しい地形の山村である。

外部人材との交流・活用に関して、村での取組は長く、30年前からの都市の小学生の山村生活体験宿泊に始まり、平成8年度からは、地域づくりインターン事業を実施し、学生と村役場職員、住民有志との間に熱い関係が生まれた。この事業は、平成20年度まで続き、多くの学生との交流があったが、特に初期の学生が中心になり、「とよねサポーターズ」を結成、不定期に訪れるなど、村との交流を深めている。

平成11年度からは緑のふるさと協力隊の受け入れを続けており、平成24年度には、その1人が地域おこし協力隊員として滞在を続けている。

平成21年度からは、愛知県内の3つの大学との連携により、農業体験や高齢者の訪問補助、健康チェック、小規模集落対策事業などが行われており、村での外部人材の交流・活用の取組は、新たな展開を見せている。

豊根村は、村にある観光農園に、子供の頃、体験宿泊で来た人が再び豊根村を訪れたり、「とよねサポーターズ」から村で開催する行事の支援の申し出があったりするなど、外部に多くの親戚のようなファンがおり、まさに心のつながりが生まれていることを示している。

地形も険しく、曲がりくねった道の続く山村でこのように人をひきつけているのは、長い年月にわたって地道な交流事業を続けてきた豊根村の職員、住民の活動の成果である。

本事例においては、このような点が評価された。

## 愛知県 豊根村(とよねむら)

【団体名】 豊根村  
 【所在地】 〒449-0403 愛知県北設楽郡豊根村下黒川字蔵平2  
 【連絡先】 TEL:0536-85-1311(代表) FAX:0536-85-1164  
 E-mail: info@vill.toyone.lg.jp  
 URL: http://www.vill.toyone.aichi.jp/

### 【交通のご案内】

- 自動車** ●新東名高速道路浜松いなさICから三遠南信自動車道、国道151号経由50分  
 ●東名高速道路豊川ICから国道151号経由1時間40分
- 鉄道** ●JR飯田線「東栄駅」からバス1時間
- 飛行機** ●中部国際空港から自動車2時間30分



### 国勢調査人口(単位:人)

昭和35年	昭和55年	平成12年	平成17年	平成22年
4,610	2,126	1,629	1,517	1,336

### 人口増減率(単位:%)

H17/S35	H17/S55	H17/H12	H22/H17
-67.1	-28.6	-6.9	-11.9

### 高齢者・若年者比率(H22年)(単位:%)

高齢者比率	45.8	若年者比率	5.2
-------	------	-------	-----